

県議会 おおいた



出前県議会（日出町：ホンダ太陽(株)日出工場）

目次

- 就任ごあいさつ…………… 1
- 平成24年 第1回定例会… 2
- 新たに構成された委員会 4
- 県議会 今後の動き………… 6



県民との意見交換会（議会運営委員会室）

就任ごあいさつ



大分県議会副議長
元吉 俊博

県民の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、先の第1回定例会県議会におきまして、副議長という大役を仰せつかり、このうえない光栄でありますとともに、責任の重大さを痛感しております。

本県では、若者から高齢者まで全ての県民が、安全・安心で、夢と希望にあふれる大分県の創造をめざして、様々な課題に取り組んでいます。

県議会といたしましては、これまで議会の改革と活性化に取り組んできましたが、なお一層、政策立案機能の充実と執行機能に対するチェック機能など、地方議会のあるべき二元代表機能の充実強化を図ってまいります。

また、県民にとって身近で分かりやすい県議会を実現するために、出前県議会の開催などを通じて、開かれた県議会の実現を目指してまいります。

今後とも、議長の補佐役として、公正・円滑な議会運営に努めることはもとより、県議会の活性化のため、さらには大分県の発展のため、誠心誠意努力してまいる所存でありますので、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成24年第1回定例会

2月28日から3月29日までの会期31日間で開催しました。

3月8日、9日に行われた代表質問には4人の議員が、また、12日から14日に行われた一般質問には12人の議員が登壇し、改定した長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」実現の具体策や、防災対策などについて、執行部と活発な論議が展開されました。

各常任委員会は、7日と23日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案等72件、議員提出議案9件を原案どおり可決、請願は3件を不採択、6件を継続審査としました。

閉会日の3月29日、副議長の辞任に伴う選挙が行われ、第92代副議長に元吉俊博議員が選任されました。



代表質問

※質問項目は、一人5項目を掲載しています。



県民クラブ

酒井 喜親 議員

▼県政運営

▼平成24年度当初予算

▼教育問題

▼TTP

▼米海兵隊による日出生台演習

問

大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」改訂後のプラン実現に向けた知事の決意を伺いたい。併せて、策定後の進行政管理に県民参加が図られると良いと考えるがどうか？

答

プランの基本はまず、「県民中心の県政」、二つ目に時代の潮流を読み解くこと、三つ目に現場の声を反映すること。これらを胸に留めて見直し、その実現に向けて、全力で取り組んでいく。

また、見直しにあたった民間策定委員の皆さんに引き続き評価していただくとともに、県民の皆さんに適宜公表し意見をいただきながら、新たな課題や時代の変化に柔軟に対応していく。



自由民主党・無所属の会

桜木 博 議員

▼県政運営

▼地震防災対策

▼農林水産業の振興

▼海外戦略

▼教育

問

財政の健全性について現状をどのようにとらえているのか、また、今後の財政収支についてどのような見通しを立てているのか？

答

財政調整用基金残高、県債残高のバランスが財政の健全性を示す重要な指標であり、本県は全国の上位に位置しているものと考えている。

今後の財政収支見通しは、義務的経費全体では、ほぼ横ばいで推移し、投資的経費では、防災・減災事業対策を講じるが、27年度末の基金残高は323億円を確保し、また、県債の実質的な残高を引き続き減らしていくことが可能であると考えている。

地方財政を取り巻く環境は依然厳しく、基金を取り崩さざるを得ない状況に変わりはないが、自主財源の確保や事業の選択と集中により努力を重ね、揺るぎない財政基盤を構築していく。



自由民主党

元吉 俊博 議員

▼産業政策

▼エネルギー政策

▼観光振興

▼高齢者福祉

▼障がい者の就業支援

問

本県経済の更なる発展に向け、今後の産業政策をどのように描いていくのか？

答

足下の景気・雇用対策はもちろんのこと、これまで培った経済発展の基盤に安住することなく、長期的な視点に立ち、常に時代の流れを読んで、新たな産業分野の育成などに取り組みることが必要であるとの考えに立ち、3つの柱からなる「おおいた産業活力創造戦略2012」を策定した。

第一は「産業集積の進化と新たなエネルギー政策の展開」、第二は「中小企業の成長・発展に向けた競争力の強化」、第三は「人材の育成と雇用の場の確保」であり、この戦略を着実に実行し、持続的に発展する大分県を目指す。





公明党
吉岡 美智子 議員

- ▼安心・活力・発展プランの理念
- ▼減災社会づくり
- ▼安心の社会づくり
- ▼環境対策
- ▼経済・雇用



問 女性の視点に立った防災対策についての県の見解は？また、今回見直しされる地域防災計画に「女性の視点」はどのように反映されたのか？



答 今回の地域防災計画の見直しにあたり、東日本大震災の被災地から避難された方々の体験を伺い、また被災地で支援活動に携わった職員からも報告を受け、意見も十分聞いた。これらの意見等を踏まえ、今回の計画素案には、まず第一に、県の備蓄物資として、水不足に対応するためのウェットティッシュ等を新たに追加し、第二に、避難に際して徒歩を原則としながら、乳幼児がいる場合などに自動車を利用するルールを予め地域ごとに決め、第三に、避難所の開設・運営にあたっては、女性や子どもの安全・安心に配慮することとした。

今回、計画の見直しに取り組んできた地域防災計画再検討委員会では、被災地で支援活動を行った保健師等を特別委員として招き、多くの意見を伺ったので、女性の視点を反映した計画になると考えている。

一般質問

※質問項目は、一人2項目を掲載しています。



日本共産党
堤 栄三 議員

- ▼広瀬県政全般
- ▼TPP問題



県民クラブ
竹内 小代美 議員

- ▼これからの農業
- ▼教育



自由民主党・無所属の会
嶋 幸一 議員

- ▼被災地の復興支援
- ▼防災



県民クラブ
深津 栄一 議員

- ▼離島振興と防災対策
- ▼旧町村地域の過疎対策



県民クラブ
守永 信幸 議員

- ▼農林水産業の担い手確保・育成対策
- ▼糖尿病の療養指導



県民クラブ
小嶋 秀行 議員

- ▼県立美術館の駐車場用地
- ▼昭和通り交差点のバリアフリー化



自由民主党・無所属の会
毛利 正徳 議員

- ▼社会資本の整備
- ▼特別支援教育



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

- ▼災害廃棄物処理
- ▼大分に根づいた企業への支援



自由民主党・無所属の会
三浦 公 議員

- ▼公社等外郭団体への出資金等
- ▼大分トリニータ



県民クラブ
玉田 輝義 議員

- ▼地域防災計画の見直し
- ▼原子力教育



自由民主党・無所属の会
近藤 和義 議員

- ▼農産物の海外戦略
- ▼三隈川の河川環境



県民クラブ
久原 和弘 議員

- ▼エネルギー政策
- ▼労働者の権利擁護



問 県は、新規就農者を5年間で1,000人確保する目標を立てているが、確保・育成に関して、どのように地域での受入体制を整備していくのかを含め、考え方を聞きたい。



答 目標への取組について2つポイントがある。
一つは、如何にして新規就農者を本県に呼び込むかということ。今年度から、担い手確保専任職員2名を配置し、「攻め」の姿勢で取り組んでおり、研修生を抱える農業法人や農業系教育機関等を訪問し、また、全国各地の就農相談会に出向き、本県での就農を働きかけている。このような取組により、新規就農者は昨年12月末で昨年度の141人を上回る153人

となり、その成果が見え始めている。

二つ目は、就農後の定着に向けたきめ細かな対応。振興局毎に、経験豊富な生産者を中心に「就農サポート会議」を設置。栽培技術の指導はもとより、地域に馴染めるように身の回り相談にも応じるなど、就農前後をトータルに地域ぐるみで支援する。

このような中、豊後大野市のピーマン部会等では、組織的に新規就農者を受入れ、定着に向けて熱心に取り組んでいる。

県としても、新規就農者に栽培技術を指導する支援員を増員配置するなど、サポート体制を強化し、加えて、青年就農給付金制度を有効に活用するなど、新規就農者の確保、定着を図る。

今後とも、地域と連携したサポート体制の充実に努め、新規就農者が「就農して良かった」と思えるよう、また、将来、本県農業を担う力強い経営体に成長するよう努力する。

問

1年4カ月後に迫った全国高等学校総合体育大会開催への進捗状況および大会を成功させるための取組について伺いた

い。また、競技力向上対策については？

答

本大会は、北部九州4県の共同開催であり、本県が中心となつて準備を進めてきた。競技運営については、高校スポーツ最大の大会にふさわしい内容とするため、きめ細かな運営計画の作成や競技役員、補助員の養成を始めている。

総合開会式については、躍動感や会場との一体感を演出する式典演技の構成など、順調に準備を進めている。

大分県で培われたノウハウ等を最大限に活用するとともに、すべての高校生が主役となり、「おもてなしの心のこもった大会」とすることが大事であると考えている。

そのため、高校生が中心となつて「手作り記念品」の作製等により、開催機運の醸成を図りたい。

競技力の向上については、特に、中学2年生から高校1年生までの選手について、大会を意識して強化に取り組んできた。

個人競技については、選拔選手を対象とした強化事業などを継続するとともに、団体競技については、優秀な指導者の招へいや県外

遠征などを実施していく。

今後関係団体と連携を図りながら、総合的に競技力向上に取り組んでいく。

可決・承認された議案 (議員提出)

意見書(8件)

▽自衛隊の定員充足を求める意見書
▽年金制度抜本改革の全体像を早期に公表することを求める意見書

▽農業者戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の建て直しを求める意見書

▽北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

▽基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書

▽こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

▽若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書

▽父子家庭支援策の拡充を求める意見書

決議関係(1件)

▽東日本大震災からの復興支援を継続・拡充する取組宣言決議

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認等された議案等 (知事提出)

予算関係(28件)

▽平成24年度大分県一般会計予算
ほか

条例関係(29件)

▽大分県家畜保健衛生所条例の一部改正について
ほか

人事関係(2件)

▽人事委員会委員の選任について
ほか

その他(12件)

▽公の施設の指定管理者の指定について
ほか

報告(1件)

▽訴えの提起について

新たに構成された委員会 (平成24年3月30日現在)

議会運営委員会

委員長

久原和弘

小野弘利

油布勝秀

御手洗吉生

淵健児

玉田輝義

江藤清志

河野成司

副委員長

三浦公

田中利明

竹内小代美

平岩純子

佐々木敏夫

(13人)

■常任委員会

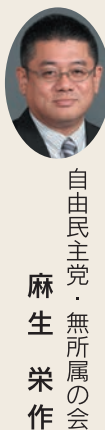
◆総務企画委員会(7人)



自由民主党・無所属の会
委員長 衛藤 明和



自由民主党・無所属の会
副委員長 古手川 正治



自由民主党・無所属の会
麻生 栄作



県民クラブ
守永 信幸



県民クラブ
深津 栄一



県民クラブ
小野 弘利



公明党
河野 成司

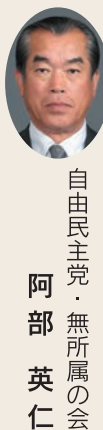
◆福祉保健生活環境委員会(8人)
(※1名欠員)



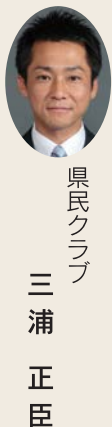
自由民主党・無所属の会
委員長 毛利 正徳



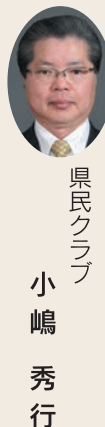
自由民主党・無所属の会
副委員長 土居 昌弘



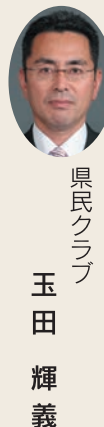
自由民主党・無所属の会
阿部 英仁



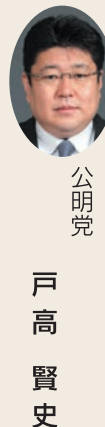
県民クラブ
三浦 正臣



県民クラブ
小嶋 秀行



県民クラブ
玉田 輝義



公明党
戸高 賢史

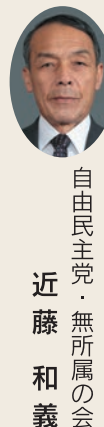
◆商工労働企業委員会(7人)



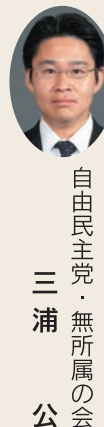
県民クラブ
委員長 吉富 幸吉



日本共産党
副委員長 堤 栄三



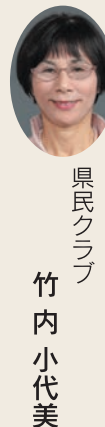
自由民主党・無所属の会
近藤 和義



自由民主党・無所属の会
三浦 公



自由民主党・無所属の会
末宗 秀雄



県民クラブ
竹内 小代美

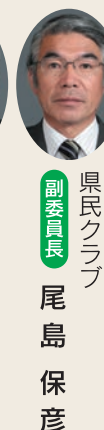


県民クラブ
首藤 隆憲

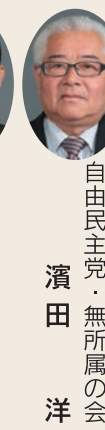
◆農林水産委員会(8人)



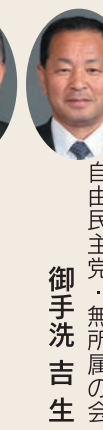
県民クラブ
委員長 酒井 喜親



県民クラブ
副委員長 尾島 保彦



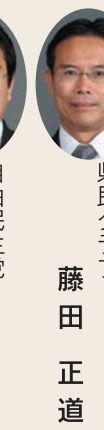
自由民主党・無所属の会
濱田 洋



自由民主党・無所属の会
御手洗 吉生



自由民主党・無所属の会
田中 利明



県民クラブ
藤田 正道



自由民主党
元吉 俊博

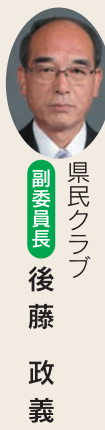


自由民主党
荒金 信生

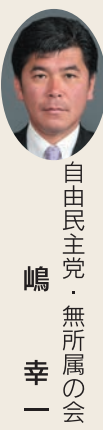
◆土木建築委員会(7人)



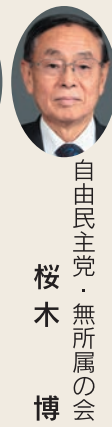
自由民主党
委員長 井上 伸史



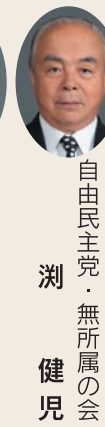
県民クラブ
副委員長 後藤 政義



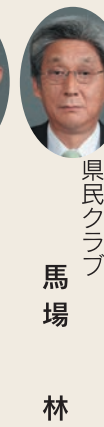
自由民主党・無所属の会
嶋 幸一



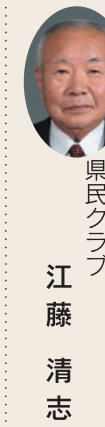
自由民主党・無所属の会
桜木 博



自由民主党・無所属の会
淵 健児



県民クラブ
馬場 林



県民クラブ
江藤 清志

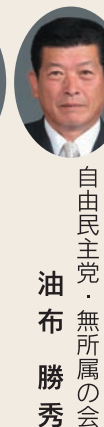
◆文教警察委員会(7人)



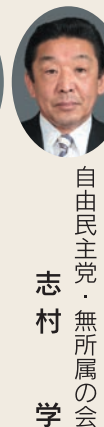
県民クラブ
委員長 平岩 純子



県民クラブ
副委員長 原田 孝司



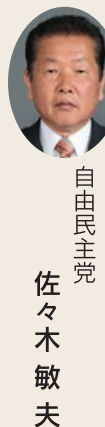
自由民主党・無所属の会
油布 勝秀



自由民主党・無所属の会
志村 学



県民クラブ
久原 和弘



自由民主党
佐々木 敏夫



公明党
吉岡 美智子

第73回 県議会 56分勉強会



定例会会期中
の3月13日、別
府大学客員教授・
京都造形芸術大
学名誉教授であり、
大分学研究会の
会長である辻野功氏を講師に招き、
「外から見た大分の魅力／人材輩
出地・大分」と題して講演をい
ただきました。

大分県は、一万円札の肖像であ
る福沢諭吉のほか、多くの日本銀
行総裁を排出しており、30代の総
裁のうち、4人5代を占め、都道
府県別では日本一となっている。

また、江戸時代に代表される洋
学者64人中、1割に当たる6人が
大分県の出身であるとのこと。

山本達雄（第5代）を始めとす
る歴代の総裁4人についてのエピ
ソードや「解体新書」の翻訳者は、
杉田玄白ではなく前野良沢であつ
たことなど、興味をそそられる話
口調に暫し耳を傾けていました。

（もし、辻野氏が日本史の先生
だったら、もっと日本史を好きに
なっていたかもしれない：これは、
編集者の感想です。）」



県議会ホームページでは…

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質
問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載
しています。ぜひ、ご覧ください。

大分県議会

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

●お問い合わせは県議会事務局各課まで●

【総務課】 議会庶務、情報公開など ……TEL.097-506-5019
【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など ……TEL.097-506-5022
【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など ……TEL.097-506-5035

県議会 今後の動き

◆平成24年第2回定例会の日程
(予定)

●6月19日(火) 開会

26日(火)～28日(木)

本会議(一般質問)

29日(金) 常任委員会

●7月4日(水) 閉会

政務調査費収支報告書が閲覧できます。

閲覧できる報告書の種類…政務調査費収支報告書（平成20年度～22年度）

閲覧できる人…どなたでも

閲覧時間…午前9時～12時、午後1時～5時 土、日、祝日及び年末年始を除く

閲覧場所及びお問い合わせ先…県議会事務局政策調査課

（大分市大手町3丁目1-1 県庁舎新館1階）電話097-506-5032

（用語解説）政務調査費とは？

議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派に対し交付されるものです。

使途を明確にし、透明性を高めるため、20年4月1日以降に交付される政務調査費から、会計帳簿、調査研究報告書
及び領収書の写しを収支報告書に添付することを義務づけました。

…………… 平成23年度分の報告書は、7月2日(月)から公開の予定です。……………

…表紙の写真について…

「出前県議会」…

東部地域において福祉分野で活躍されている7団体から
「障がい者の生活と就労について」をテーマに意見や提言
をいただき、意見交換を行いました。
[平成24年2月20日 日出町 ホンダ太陽(株)日出工場]

「県民との意見交換会」…

今回初の試みとして、県民の方12名と議長、広報委員6
名のほか2名の議員の参加のもと、「県議会に対するご意
見、ご要望」、「若者の政治参加を推進するための方策等」
をテーマに意見交換を行いました。
[平成24年3月17日 議会運営委員会室]

テレビ広報番組のお知らせ

「県議会タイム」

OBS大分放送〈7月7日(土) 午後5時15分から〉

第2回定例会の概要や、各委員会の活動の様子を放送します。
ぜひご覧ください。

点字版

音読版

「県議会おおいた」のご案内

●本紙の点字版・音読版を作成しています。
詳しくは議会事務局政策調査課まで